

報道・広報

[ホーム](#) > [報道・広報](#) > [報道発表資料](#) > ビッグデータを活用した実証実験事業の実施対象を決定しました

ビッグデータを活用した実証実験事業の実施対象を決定しました

令和4年10月12日

国土交通省は、携帯電話の位置情報データ(ビッグデータ)を活用し、交通課題の解決を目指す事業について、採択する対象事業を決定しました。

携帯電話の位置情報データ(ビッグデータ)を活用し、観光客や住民の流動を可視化・分析することにより、これまで困難であった各種政策立案や地域の課題解決が可能になることが期待されています。本事業は、携帯電話の位置情報データを活用し、交通課題の解決を目指す事業を公募形式で行うもので、8月12日から9月22日までの募集期間に41件の応募がありました。

有識者による審査委員会を踏まえ、応募提案から下記のとおり8件の採択を決定しました。採択されたモデル事業は今月より開始し、来年3月に予定している成果報告会にて成果の報告・公表を行う予定です。

【採択事業】

| 事業名 | 実施主体名 |
|--|-----------------------|
| 都市全体の人流・交通動態の動的シミュレーションモデルの構築 | 株式会社瀬戸内 |
| 本邦初のハイブリッド位置情報データ分析による、観光誘客・二次交通構築におけるEBPMの推進とdestination・マーケティングの変革 | 北の山岳リゾートS-DXコンソーシアム |
| 対流拠点創出・整備における位置情報ビッグデータ分析および活用 | さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム |
| 鳥取県東部における人流データ・シミュレーション技術等を活用した旅客流動分析及び広域交通マネジメント手法の検討 | 株式会社GEOTRA |
| 川崎市におけるビッグデータを活用した交通最適化とカーボンゼロの実現に向けた実証事業 | ソフトバンク株式会社 |
| 新たな玄関口-西九州新幹線「嬉野温泉駅」-における、ビッグデータ活用による継続的な誘客施策の検討 | うれしの観光推進コンソーシアム |
| “消費×総合交通×人流ビッグデータ”の重ね合わせによる先進過疎地・庄原の潜在需要の発掘実証実験 | 庄原MaaS検討協議会 |
| ビッグデータを用いた新しい観光導線の創造と冬の観光閑散期の地域経済活性化 | 横浜中華街発展会協同組合 |

添付資料

事業名：

鳥取県東部地域における、人流データ・シミュレーション技術を活用した、旅客流動分析及び広域交通マネジメント手法の検討

対象課題：

鳥取県東部地域(鳥取市、岩美郡、八頭郡)では、大型連休期間中の交通渋滞や市街地で発生する慢性的な交通渋滞等の交通課題がある一方で、地方部固有の課題から交通需要を評価・予測する為の基礎データが乏しい

実証内容：

携帯電話GPS位置情報から得られる人流データを用いて、交通課題を分析評価し、またシミュレーション技術を用いて将来の交通流を予測評価し、これらの結果を用いて地方部における汎用的な広域交通マネジメント手法を検討する

応募主体：

株式会社 GEOTRA

※ GEOTRAは、三井物産株式会社とKDDI株式会社の合弁会社



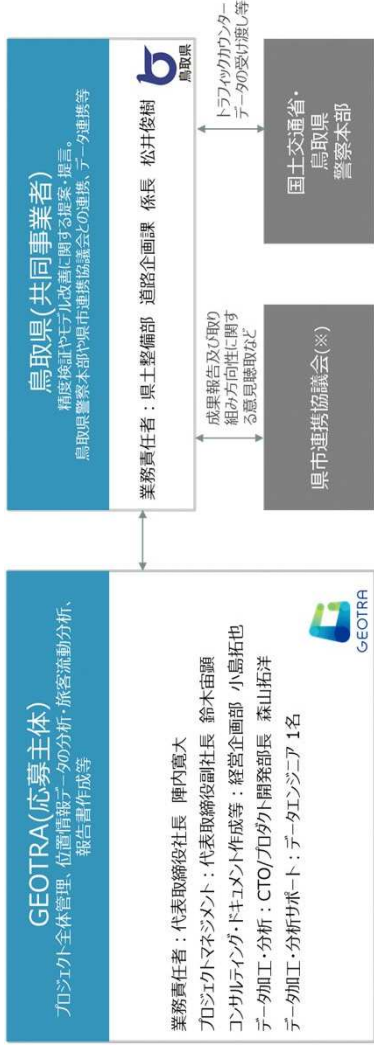
第1回鳥取県道路交通渋滞対策部会 資料より



実証実験概要



体制図：



取組内容：

鳥取県東部地域の課題

- 市街地や大型商業施設で慢性的な交通渋滞が発生
- 交通需要を評価・予測する為の基礎データが乏しい

事業概要・目的

- ビッグデータやシミュレーション技術を用いた渋滞要因の分析評価や道路整備による交通流の変化を予測する手法を開発
- 交通基礎データに乏しい地方部における汎用的な広域交通マネジメント手法を検討

実証内容

| | | |
|--|---|---|
| ① 非集計トリップデータの作成 GPS位置情報及び複数のデータ加工技術を用いて鳥取県全道の非集計(シロ)トリップデータを作成し、また地図データ等を統合することでトリップに加えて経路が分析可能なデータを作成 | ② トラカデータ等による精度検証 作成したトリップデータ等を、国交省及び県警察本部が保有するトヨタ/カワサキデータと突合し、精度検証及び精度改善を実施(※) <small>※鳥取県(体)のTRAIは2022年9月が実行開始。着手しており、県警察本部に提供したデータは2022年9月～2年間に交差利用データの高精度検証が行われていく。</small> | ⑤ 汎用的な広域交通マネジメント手法の検討 交通基礎データに乏しい地方部における、ビッグデータを活用した汎用的な広域交通マネジメント手法を検討 |
| ③ シミュレーション分析 交通シミュレーションモデルを用いて、観光地の開発や観光格差の整備による交通流の変化を予測 | ④ 渋滞要因の評価・施策の検討 作成したデータ及びシミュレーション結果を用いて渋滞要因の分析評価及び有効な渋滞策を立案 | |

全体スケジュール：

- 〇 年内
【先行業務】 交通流再現データ(一か月分)の構築と精度確認
- 〇 年内
【実証実験】 交通流再現データ(三ヶ月分)の構築と精度確認
- 〇 2023年1月まで
【実証実験】 シミュレーション技術を用いた将来の交通流変化の予測
- 〇 2023年2月まで
【実証実験】 交通課題の緩和・解消に向けた効果的な交通施策の立案
- 〇 2023年3月～
【実証実験】 ビッグデータを活用した汎用的な広域交通マネジメント手法の構築
【実証実験】 「鳥取砂丘の観光促進、活性化及び安全における県市連携協議会」への実証結果の報告・取り組み方向性に係る意見聴取等
- 〇 2023年4月～
【実証実験】 本実証の結果を基にした具体的な交通施策の実行検討、鳥取県全域への手法の適用等



実証実験概要



データ加工技術：

- au GPSビッグデータやその他のデータを統合し、多角的な分析が可能な非集計ビッグデータを作成します。
- また、同データとシミュレーション技術を用いたシミュレーション分析を実施します。

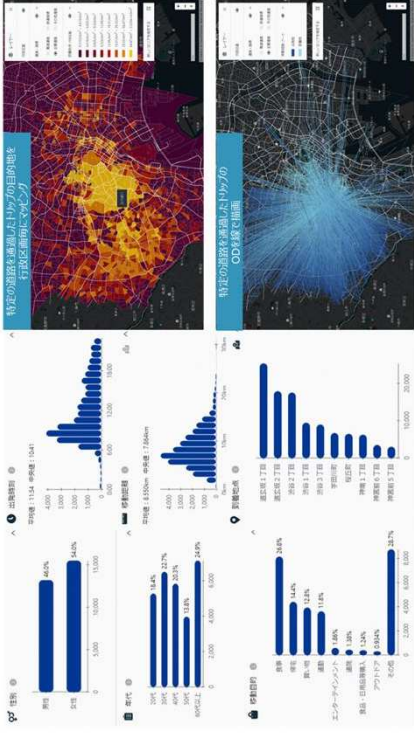


データを用いた広域交通流の再現の一例：



データを用いたトリップ分析の一例：

【特定の道路を通過(利用)した移動に関するトリップ分析例】



データを用いた交通シミュレーションの一例：

